

6 月度学術講演会

日 時	6 月 1 9 日 (土) 午後 2 時
演 題	肥満・メタボリックシンドロームと尿酸代謝異常の病態と治療概念と治療
講 師	大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 講師 藏城 雅文
出席者数	1 5 名
担 当	富永良子
共 催	持田製薬(株)

高尿酸血症の約 90%は尿酸排泄低下（産生過剰型の合併を含む）に起因するものである。肥満・メタボリックシンドロームでは、インスリン抵抗性（高インスリン血症）により腎臓における URAT1（尿酸トランスポーター）を介した尿酸の再吸収が亢進「尿酸排泄低下」するため、尿酸代謝異常（高尿酸血症）が高頻度に認められる。一方で、高尿酸血症は、メタボリックシンドロームの予測因子として知られている。尿酸が、URAT1 を介して脂肪細胞に取り込まれ、酸化ストレス、炎症、内分泌異常を引き起こすことを介して寄与している可能性が示されている。ドチヌラドは、URAT1 を選択的に阻害する、尿酸再吸収阻害薬であり、SURI (Selective Urate Reabsorption Inhibitor) と呼ばれている。SURI であるドチヌラドの投与により、腎臓における尿酸の再吸収抑制を介した高尿酸血症の是正に加えて、脂肪細胞における尿酸取り込み抑制を介したメタボリックシンドロームの是正に寄与する可能性がある。